

2054

環境で心のやり方は変る

ラジオの音楽をきいてはた

アト敏筆直致の有楽軒がうかんだ

ワラ羊紙を小さくしてピエとゆいふうり

ひとりの詩集も戦時服の姿で

十月二二日

詩をかかれ 之う具じ ところどころ

色アケされてい

その詩集が 氣にいつて

いくつかもうそい

何年かたして 生活かゆいかにあつて

本屋さんで

立派な^{打ち}書^打丁の^蔵米^多造^造とあわれ

本と見

さつそく 手にして

何の^力も^も感じない

よく出るおの^手一と思つて

有楽軒で買つた 可い詩集

身はかすか

この本は

その時分の
ふかれに環境で
心の、
身代したとしか
思えず。

今の思いは今のもの

今しか感じず

何年かたつと
さかう感じるに
たて

しれず

今思う心は
今切なり

心の
ありが
たを
た
たし
て
行
る
は
い

2023
11/26